

平成 26 年度 DNA 実験センター第 1 回運営会議議事録

日時：平成 26 年 4 月 18 日 17:00～17:40

場所：M1 号館 9 階 No4.集談室

出席者(運営委員) 宮下、高橋、亀山、高山、板倉、江島、福田、

委任状提出者(運営委員) 太田、三枝、堀江、岡本、望月、藤村、釵持、松本、内田

出席者(利用者) 初瀬

審議事項

1. 運営委員の選出について

平成 26 年度運営委員として、以下の委員が承認された。

基礎系		臨床系	
宮下 俊之 (教授)	センター長	西井 基継 (助教)	循環器内科学
高橋 正身 (教授)	生化学	堀江 良一 (准教授)	血液内科学
亀山 孝三 (講師)	分子遺伝学	岡本 智子 (助教)	腎臓内科学
高山 吉永 (助教)	分子遺伝学	内田 健太郎(助教)	整形外科
板倉 誠 (講師)	生化学	佐藤 之俊 (教授)	呼吸器外科学
太田 博樹(准教授)	解剖学	望月 純子 (講師)	産婦人科学
三枝 信 (教授)	病理学	藤村 響男 (講師)	皮膚科学
江島 耕二 (講師)	免疫学	釵持 学 (特任助教)	小児科学
福田 英一 (助教)	生理学	松本 和将 (講師)	泌尿器科学

佐野 肇 (耳鼻咽喉科) →佐野先生は医療衛生学部の所属となり、耳鼻咽喉科の利用者がいないため耳鼻咽喉科の席を空席とする。

2. 平成 26 年度予算

収入 300,000 円 + シークエンサー使用料 + プレート使用料

報告事項

1. 平成 25 年度収支報告

収入	
一般研究費	300,000 円
平成 25 年 1～12 月 3130 シークエンサー使用料	628,200 円 (900 円×698 ラン)
3500 x L シークエンサー使用料	715,200 円 (4,800 円×149 ラン)
アンピシリンプレート使用料	16,520 円 (40 円×413 枚)
シークエンサー用プレート	567 円 (567 円×1 枚)
計	1,660,487 円

支出

シーケンス消耗品	1,182,385 円
一般消耗品	471,350 円
計	1,653,735 円

残額 6,752 円

- 平成 25 年度購入機器
大型機器 : ルミノイメージアナライザー
(GE ヘルスケア、ImageQuantLAS-4000)
小型機器 : 恒温乾燥機 (パナソニック MOV-212FU-PJ)
- 平成 26 年度購入予定機器
大型機器 : Epi-BGR Set (LAS-4000)
中型機器 : バイオシェーカー (BR-43FL-MR)
遠心濃縮機、ダイアフラム型ポンプ (CC-105, DTU-20)
- サービス業務
アンピシリンプレート 423 枚作製(平成 25 年 1 月~12 月)
- DNA 実験センター活動報告
平成 25 年 4 月 24 日 第 1 回運営会議・利用者会議
5 月 10 日 核酸分離解析システム (FAS-III) プリンター用紙製造中止のため、
プリンター交換
5 月 21 日 恒温乾燥機 (パナソニック、MOV-212FU-PJ) P1 室に搬入
6 月 26 日 紫外線可視分光光度計 (日本分光、V-520-SR) 廃棄
6 月 06 日 リアルタイム PCR 基礎セミナー開催
6 月 07 日 恒温乾燥機 P2 室に搬入
7 月 20 日 小児科より分光光度計寄贈
9 月 05 日 LAS-4000 デモ
9 月 20 日 自動磁気細胞分離装置 (ミルテニーバイオテック、autoMACS) 修理
9 月 26 日 管理室パソコン購入
11 月 25 日 シークエンサー-3500xL 点検
12 月 20 日 第 2 回運営会議・利用者会議
平成 26 年 3 月 25 日 LAS-4000 搬入
- シーケンサー-3500xL 利用料 (24 本キャピラリーシーケンサー) について
利用料は、4,800 円/ランのままとする。
- シーケンサー-3130 利用料 (4 本キャピラリーシーケンサー) について
現在 900 円/ランで使用されているが、今後消耗品の値上げの際は利用料を値上げする。

7. シークエンサー3130 使用不可

先月・今月と同じ不具合が起き(ラン途中でSTOP し、パソコンがOFFになる)、ライフテクノロジーズに問い合わせたところ、マザーボードが寿命により壊れていると思われるとの回答だった。PCのアップグレードを勧められたが、修理費が高いためXPパソコンを購入し、現在と同じソフトを入れる予定。修理の間24本キャピラリーシークエンサーを使用して頂くこととする。

8. LAS-4000 ソフトライセンス

現在ライセンスが4件残っており、1つはセンターのLaser Geen用のパソコン、あとは使用者の多い病理学教室(村雲先生)、循環器内科にお聞きし、必要であればお分けする。

9. 機器設置場所の移動

今年度納入機器の設置場所確保のため、機器を移動。

動かした機器の設置場所に関しては、センター岩佐に問い合わせる。